

文部科学省 科学研究費補助金 研究成果報告書

1 概要

科学研究費補助金（略称：科研費）は、国費による研究助成金の中核的存在である。人文・社会科学から自然科学までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、研究者による審査（ピア・レビュー）を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものである。

科研費の規模は1,970億円（平成21年度）であり、国の競争的研究資金全体の中では約40%を占めている。応募総数は年間10万件を超え、新規採択件数は約20,000件である。

文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書（科研費報告書）は、補助金を受けた研究代表者が研究成果をとりまとめ、研究期間終了の翌年に提出するものである。従来は冊子で作成・提出されてきたが、平成21年提出分からは一部を除き電子化され、Webで全文が公開される。

2 報告書の種類と利用方法

◆報告書の種類

科研費による成果として提出される報告書には3種類があり、利用方法は次のとおりである。

種類	平成20年提出分まで	平成21年提出分から
研究実績報告書	KAKEN	KAKEN
研究成果報告書	国立国会図書館で利用 (関西館所蔵、東京本館に取寄可) (閲覧・複写や図書館間貸出)	KAKEN 「特定領域研究」と「新学術領域研究(研究領域提案型)」の計画研究に限っては国立国会図書館関西館での利用
研究成果報告書概要	KAKEN	(廃止)

※KAKEN：科学研究費補助金データベース（国立情報学研究所）<http://kaken.nii.ac.jp/>

「研究成果報告書」提出の要否は研究種目や年度によって異なる。平成19および20年度の場合は下表のとおり。 ●…電子媒体、○…冊子体、×…提出義務なし

研究種目等		H20年度公募分	H19年度公募分
科学研究費	特別推進研究	●	○
	特定領域研究	○(新規募集は停止)	○
	新学術領域研究(研究領域提案型)	●, ○(計画研究のみ)	(H20新設につき募集なし)
	新学術領域研究(研究課題提案型)	●	(H20新設につき募集なし)
	基盤研究	●	○(研究期間2年以上の課題のみ)
	(挑戦的)萌芽研究	●	×
	若手研究	●	○(研究期間2年以上の[S]のみ)
	奨励研究	×	×
特別研究促進費		●	○
研究成果公開促進費		出版物の刊行を助成する種目。出版物自体が成果である。	
特定奨励費		×	×
特別研究員奨励費		●	×
学術創成研究費		●	○(研究期間2年以上の課題のみ)

◆国立国会図書館での所蔵の範囲

国立国会図書館では、昭和50(1975)年頃から平成20年提出分までの「研究成果報告書」を所蔵している。当館が所蔵する科研費報告書の大部分は関西館で所蔵しているが、昭和57(1982)年以前の一部の資料は東京本館で所蔵している。当館内での閲覧のほか、図書館への貸出を行っている。

3 NDL-OPAC での検索

国立国会図書館で所蔵する科研費報告書は、すべて NDL-OPAC で検索することができる。

【一般資料の検索／申込み】の画面で「和図書」にチェック☑を入れて検索する。

検索に使える項目と入力欄の対応は次のとおり。

検索に使う言葉	画面での入力欄
課題名・研究種目	[タイトル] ※
研究代表者名・研究機関名	[著者・編者] ※
課題番号	【一般資料の検索／申込み(拡張)】の画面で[標準番号]のプルダウンメニューを「科研費課題番号」に指定して入力
キーワード	[件名] (研究代表者が付与したキーワードを非統制件名として採録)
(科研費報告書に絞りたいとき)	[分類記号] に「Y151」と入力 (1982 年以前の一部の資料は除かれます)

※NDL-OPAC では、科研費報告書のタイトルとしては研究課題名を、著者としては研究代表者のみを採録している (図 1 と次ページの図 2 を比較)。1 冊の科研費報告書が複数の論文から構成されている場合、個々の論文の著者名や論題から NDL-OPAC を検索することはできない。探している科研費報告書の研究課題名や研究代表者名がわからないときは、KAKEN を利用しての調査が必要になる。

図 1 NDL-OPAC の書誌データ (例)

書誌情報 和図書(1/1件目)	
請求記号	Y151-H05102005
タイトル	免疫病の分子・遺伝子治療に関する研究
責任表示	岸本,忠三,大阪大学
出版年	1993-1996
注記	文部省科学研究費補助金研究成果報告書
注記	その他のタイトル: 研究種目 特別推進研究
科研費課題番号	05102005
個人著者標目	岸本,忠三 キシモト,タダミツ
非統制件名	ep130
非統制件名	STAT3
非統制件名	NF-IL6
非統制件名	CD40
非統制件名	ケモカインPBSF/SDF-1
非統制件名	HIV coreceptor
NDLC	Y151
その他のタイトル標目	研究種目 特別推進研究
発行形態コード	0101: 図書
西暦年	1993
校了日	19970819
最終更新	20051020235959
書誌ID	000006989996

研究課題名

研究代表者名, 機関名

研究期間

研究種目

課題番号

研究代表者が課題に対して
付与したキーワード
(最大で 8 語まで)

分類記号は一律に「Y151」
(1982 年以前の一部を除く)

(被引用例 - 表記のバリエーション -)

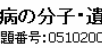
- 青山雅史 (2000) 日本列島の岩石氷河台帳. 文部省科学研究費補助金研究成果報告書「日本列島における岩石氷河とその古環境学的意義に関する研究」(代表: 岩田修二, 課題番号: 09680179): 67-121.
- 文部科学省科学研究費補助金, 特定領域研究 (A), 研究成果報告書 (平成 10~12 年), 中筋一弘 (領域代表), 2001
- 吉森明, 文科省科研費報告書 (2002).
- 長友和彦, 1990, 誤用分析研究: 日本語の中間言語の解析にむけて, 第二言語としての日本語の教授学習過程の研究 平成元年度科学研究費補助金 [一般 (B)] 研究成果報告書, 1-53
- Ohigashi H, 1995. Plants used medicinally by primates in the wild and their physiologically active constituents. Report to the Ministry of Education, Science, Sports and Culture for 1994 Grant-in-Aid for Scientific Research (no. 06303012).
↑ 科研費の英語名称

※科研費報告書が引用されるときには、1 冊の報告書単位で引用される場合と、報告書に収録されている論文単位で引用される場合の 2 通りがある。論文単位で引用された場合、その論文の著者が研究代表者であるとは限らないので、NDL-OPAC を検索するときには注意が必要。

◆ Web 情報

- ◆冊子体 (参考文献[5]、[6]参照)

「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい）〈NDL 請求記号 Z41-994〉
「学術月報」（日本学術振興会）〈NDL 請求記号 Z21-50〉の増刊 … 昭和 54 年度以前の採択課題検索に利用



科学研費補助金データベース

[ヘルプ](#)
[サービス概要](#)
[よくある質問](#)
[English](#)

[検索結果に戻る](#)



免疫病の分子・遺伝子治療に関する研究
研究課題番号: 05102005

代表者 1993年度～1996年度



岸本 忠三
研究者番号: 10093402
大阪大学・医学部・教授

研究分担者・連携研究者



釜良 静男
研究者番号: 50192919
大阪大学・細胞生体工学センター・助教授



小川 啓彦
研究者番号: 80194447
大阪大学・医学部・講師



佐伯 行彦
研究者番号: 40240840
大阪大学・医学部・助手

キーワード

[gp130](#)
[NF-IL6](#)
[STAT3](#)
[CD40](#)
[SDF-1](#)
[ノックアウトマウス](#)
[HIV coreceptor](#)

この研究課題のドキュメント

1993年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
1994年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
1995年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)
1996年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#) [研究実績報告書概要](#) [研究実績報告書概要\(英文\)](#)

研究分担者名で課題を検索することができる

研究課題基本情報(最新年度)

研究期間	1993年度～1996年度
研究分野	審査区分
研究種目	特別推進研究
研究機関	大阪大学

各年の研究実績報告書および研究成果報告書概要。リンクをクリックするとジャンプする

研究概要(最新報告)

平成5年度から平成10年度までの研究実績を掲載している。掲載された特別推進研究の代表的成果は以下のものである。1) サイトカイン共通信号伝達分子gp130を紹介する信号を核内に伝達するSTAT3の遺伝子クロノシン外に成功。その全構造を決定。その結果、gp130から遺伝子

実績報告書や研究成果報告書概要の全文を対象に検索することができる

科研費関係で提出される報告書のうち、「研究実績報告書」と「成果報告書概要」は、様式が定まった簡易な文書（A4用紙 2 枚分）。このうち研究内容に関わる部分は 800 字程度であり、報告書に記載された内容がそのまま「研究概要」として KAKEN で公開され、インターネットで閲覧することができる。

発表文献

- Takeda, K. et al.: "Essential role of STAT6 in IL-4 signaling." *Nature*. 380. 627-630 (1996)
- Yosida, K. et al.: "Targeted disruption of gp130, a common signal transducer for the receptors for interleukin-6 and interleukin-11, results in embryonic lethality due to defects in hematopoiesis and myeloid lineage development." *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*. 93. 3963-3966 (1996)
- Minami, M. et al.: "STAT3 activation is a critical step in gp130-mediated transcriptional activation in myeloid cell line." *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*. 93. 3963-3966 (1996)
- Nagasawa, T. et al.: "Defects of B lymphopoiesis and bone marrow myelopoiesis in mice lacking the stromal cell derived factor-1 (SDF-1)." *Nature*. 382. 635-638 (1996)
- Kamanaka, M. et al.: "Protective role of CD40 in Leishmania major infection at two sites of immunity." *Immunity*. 4. 275-281 (1996)
- Sasaki, K. et al.: "Absence of fetal liver hematopoiesis in mice deficient in transcriptional coactivator core binding factor-1." *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*. 93. 12359-12363 (1996)
- 研究実績報告書や研究発表文献の書誌情報が含まれることになる。

研究実績報告書や研究成果報告書概要には発表文献の書誌情報が含まれる。これらも検索の対象になる。

5 文部科学省科研費以外の研究助成金の報告書

国立国会図書館で冊子の報告書類を所蔵している研究助成制度には、次のようなものがある。

■厚生労働科学研究費補助金（旧厚生省補助金）

<http://www.mhlw.go.jp/wp/kenkyu/index.html>

- ・国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関わる研究分野に対して行われる研究助成事業。
- ・研究者は厚生労働省に対して研究報告書を 11 部提出し、同省から NDL に成果報告書が納本される。NDL-OPAC の「一般資料の検索／申込み」の画面で、「タイトル」に課題のキーワードとともに「厚生△補助金」と入力して検索。なお、平成 12（2000）年以 11 月以降は分類記号として「Y155」を付与している。
- ・1998 年以降の報告書は、「厚生労働科学研究成果データベース」で本文を閲覧できる場合がある。
<http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

■科学技術振興調整費

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chousei/

- ・総合科学技術会議の方針に沿って文部科学省が運用を行う、政策誘導型の競争的資金。
- ・電子版の成果報告書は「科学技術振興調整費データベース」で検索・閲覧できる。
<http://scfdb.tokyo.jst.go.jp/>
全文検索のほか、キーワード検索では課題名、研究機関名、研究者名からの検索も可能。
- ・冊子体の成果報告書は成果集という形式で刊行され、当館で部分的に所蔵。NDL-OPAC の「一般資料の検索／申込み」の画面で、「和図書」の他に「和雑誌」と「電子資料」にもチェックを入れ、タイトル欄に「科学技術振興調整費」と入力して検索。個別の研究課題名や著者(研究者)名からは検索できない。

■私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（旧：私立大学学術研究高度化推進事業）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002.htm

- ・私立大学等における研究を支援するために実施する研究助成事業。
- ・資料タイトルは「ハイテク・リサーチ・センター整備事業 研究成果報告書」、「学術フロンティア推進事業 研究成果報告書」などとなっていることが多い。
- ・当館では一般の図書として東京本館で所蔵。NDL-OPAC の「一般資料の検索／申込み」の画面で、タイトル欄に「ハイテク・リサーチ・センター」または「学術フロンティア推進」などを入力し、出版者欄に大学名を入力して検索。個別の研究課題名ではヒットしない資料がある。

■地球環境研究総合推進費

<http://www.env.go.jp/earth/suishinhi/>

- ・地球環境の保全に資することを目的とした研究資金。
- ・「地球環境研究成果データベース」で成果報告書を検索・閲覧できる。
<http://www.env.go.jp/earth/suishinhi/wise/j/kensaku.htm>
- ・冊子体の資料は 1 課題ごとに小冊子で刊行され、当館東京本館で部分的に所蔵。NDL-OPAC の「一般資料の検索／申込み」の画面で、タイトル欄に「地球環境研究総合推進費」と入力して検索。

この他の研究成果報告書等の所蔵については、当館ホームページ リサーチ・ナビの「国内の主要な科学技術研究助成事業とその成果報告書」（参考文献[8]）を参照されたい。

（参考文献）

- [1] 文部科学省研究振興局、独立行政法人日本学術振興会．“科研費ハンドブッカーより良く使っていただくために－2009 年度版”．平成 21 年 5 月，日本学術振興会ホームページ。
http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/index.html（参照 2009-10-01）．
- [2] 文部科学省．“科学研究費補助金”．文部科学省ホームページ。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm（参照 2009-10-01）．
- [3] 日本学術振興会．“科学研究費補助金”．日本学術振興会ホームページ。
<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>（参照 2009-10-01）．
- [4] 松木秀彰．科学研究費補助金の「研究成果報告書」ができるまで．情報の科学と技術．54(6)，2004，p. 282-288．
- [5] 後藤悦子．文部省科学研究費補助金成果報告書の所蔵状況と所蔵調査方法．科学技術文献サービス．118，1999，p. 1-4．
- [6] リサーチ・ナビ 科研費報告書（文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書）．国立国会図書館ホームページ。
http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-205003.php（参照 2009-10-01）．
- [7] 特集：科学研究費補助金．学術月報．60(10)，2007，p. 754-873．
- [8] リサーチ・ナビ 国内の主要な科学技術研究助成事業とその成果報告書．国立国会図書館ホームページ
http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-400126.php（参照 2009-10-01）．
- [9] 関西館の資料紹介 第 4 回 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書．国立国会図書館月報．541，2006，p. 43-47．
- [10] 飯田益雄著．科研費ヒストリー：科学政策にみる科研費の制度と運営の実態 科学新聞社 2007．